

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課： 道路局 高速国道課

担当課長名： 横田 耕治

事業名	東九州自動車道 清武JCT～北郷		事業区分	高速自動車国道	事業主体	日本道路公団	
起終点	自：宮崎県宮崎郡清武町大字今泉 至：宮崎県南那珂郡北郷町大字郷之原			延長	1.9 km		
事業概要	東九州自動車道は九州縦貫道、九州横断道と一体となって高速道路ネットワークを形成し、九州地方の一体的な産業、経済、文化の交流発展に資する路線である。						
H11年度事業化	H - 年度都市計画決定		H - 年度用地着手		H14年度工事着手		
全体事業費（有料）	870億円		事業進捗率	0%		供用済延長	- km
計画交通量	5,600台/日（有料）、9,200台/日（無料）						
費用便益分析結果（有料）	B/C (事業全体) 1.89 (残事業) 1.90	総費用 (残事業)/(事業全体) 540/543億円 事業費：500/502億円 維持管理費：40/40億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,027/1,027億円 走行時間短縮便益：924/924億円 走行費用減少便益：71/71億円 交通事故減少便益：31/31億円	基準年 平成15年度			
費用便益分析結果（無料）	B/C (事業全体) 3.44 (残事業) 3.46	総費用 (残事業)/(事業全体) 517/520億円 事業費：496/498億円 維持管理費：21/21億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,789/1,789億円 走行時間短縮便益：1,608/1,608億円 走行費用減少便益：127/127億円 交通事故減少便益：54/54億円	基準年 平成15年度			
事業の効果等（有料）	<ul style="list-style-type: none"> 指標1（高速バス等長距離自動車交通の利便性が高まる） 指標2（新幹線・空港等幹線交通網への利便性が高まる） 指標3（高度な医療施設までの搬送時間が短縮される） 					他8項目に該当	
関係する地方公共団体等の意見	当区間の整備により、諸産業の振興はもちろんのこと、一般道路の代替道路が確保され、救急医療や災害時の緊急輸送道路としての活用をはじめ、安心して安全な地域住民の暮らしにとって、特に重要な区間である。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	将来の社会経済状況の変化に対応した将来交通需要、及び、長期的な道路計画の検討に資する2050年までの推計を目的に、前提となる社会経済指標等を見直した結果、全車の総交通需要を下方に修正。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在、中心杭設置済。一部先行工事中。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後、地元設計協議に着手する予定。						
施設の構造や工法の変更等	新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	高速道路の整備を直轄方式に移行する見直しを行い、事業継続と判断する。						
事業概要図	<p>凡例 高速自動車国道 供用中 事業中 整備計画区間 基本計画区間 予定路線 高速自動車国道に移行する一般自動車専用道路 供用中 事業中</p>						

供用中はH15年度供用予定を含む。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

（バックデータ等についてはインターネットで公開）